

各位

会社名 GMOリサーチ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 細川 慎一
 (コード: 3695 東証グロース)
 問合せ先 取締役グローバル経営管理本部長 森 勇憲
 (TEL: 03-5962-0037)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社であるGMOインターネットグループ株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2022年12月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が 上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
GMOインターネット グループ株式会社	親会社	54.57	—	54.57	(株)東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社の親会社であるGMOインターネットグループ株式会社は当社の議決権 54.57%を保有する筆頭株主であり、「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、インターネットインフラ事業、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、暗号資産（仮想通貨）事業を行っております。

① 親会社等の企業グループにおける当社グループの位置づけ

当社は、GMOインターネットグループのインターネット広告・メディア事業に属しており、その中でインターネットリサーチ事業を担う会社と位置付けられております。

② 親会社等の企業グループとの役員の兼務関係について

2022年12月31日時点において、当社の役員10名の内、親会社であるGMOインターネットグループ株式会社の役員を兼ねる者は2名であり、当社における役職、氏名および親会社等又はそのグループ企業での役職は以下のとおりであります。

(役員・取締役の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役会長 (非常勤)	熊谷 正寿	■親会社 GMOインターネットグループ株式会社 代表取締役グループ代表 会長兼社長執行役員・CEO ■親会社の関係会社 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 取締役 会長 GMOペパボ株式会社 取締役会長 GMOペイメントゲートウェイ株式会社 取締役会長 GMO TECH株式会社 取締役会長 GMOメディア株式会社 取締役会長 GMOアドパートナーズ株式会社 取締役会長	GMOインターネットグループの経営に関する豊富な経験と知見を有しており、広範かつ高度な視野からの経営全般に対する助言を得るため
取締役 (非常勤)	安田 昌史	■親会社 GMOインターネットグループ株式会社 取締役グループ副社長執行役員・CFOグループ代表補佐グループ管理部門統括 ■親会社の関係会社 GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社 取締役 役 GMOペイメントゲートウェイ株式会社 取締役 GMOアドパートナーズ株式会社 取締役 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 取締役 GMOメディア株式会社 取締役 GMO TECH株式会社 取締役 GMOあおぞらネット銀行株式会社 社外取締役	GMOインターネットグループの経営、公認会計士としての豊富な経験と知見をもとに、当社のガバナンス体制強化と経営全般に対する助言を得るため

③ 親会社等からの独立性の確保について

当社の営業取引における親会社等のグループへの依存度は低く、一部を除いてはそのほとんどは当社と資本関係を有しない一般企業との取引となっております。

さらに、当社の事業展開にあたっては、親会社等の指示や承認に基づいてこれを行うのではなく、一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員、及び過半数を占める常勤役員を中心とする経営陣の判断のもと、独自に意思決定して実行しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金 (千円)	事業の内容又は職業	議決権の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	GMOインターネットネットグループ株式会社	東京都渋谷区	5,000,000	インターネット総合事業	(被所有)直接 54.57	役員の兼任	資金の預入 資金の回収	150,000 350,000	関係会社 預け金	400,000

(注) 1. 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 当社と関連を有しない会社との取引と同様に、取引規模等を総合的に勘案し交渉の上決定しております。
- (2) 資金の預入についてはGMOインターネットネットグループ株式会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・サービス）による、余剰資金の短期運用のための預け金であり、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社が親会社等のグループと取引を行う場合には、新規取引開始時及び既存取引の継続時も含め少数株主の保護の観点から取引条件等の内容の適正性を、その他第三者との取引条件と比較しながら慎重に検討して実施しております。

以上